

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 音の森はこだて花園 | | 公表日 | | 2026年 3月 31日 | |
|---------|----|--|----|-----|---------|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 第三者による外部評価の導入を検討するとともに、評価結果を職員間で共有し、具体的な業務改善につなげていきたい。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | | | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|--|---|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | | 援内容や本人の特性を整理した引き継ぎ資料を作成し、関係機関への情報提供と連携の強化を図る。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 地域に向けたワークショップや体験会を開催しており、次年度に向けても地域交流イベントを計画するとともに、地域の子どもの関わりの機会を通して、相互理解の促進と関係構築につなげております。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | オンライン講演会やペアレントトレーニングの研修を実施しており、今後も継続して家族支援の機会を提供するとともに、来年度は親子参加型療育等の導入を検討し、家族の対応力向上につなげております。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | 運営規程や支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行うとともに、専門的支援実施加算や欠席時対応加算等の内容についても分かりやすく説明し、保護者に安心して利用していただけるよう努めております。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|--|--|---|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | | 茶話会を開催しており、今後も保護者会や茶話会等を継続的に実施するとともに、保護者同士の情報共有や交流の機会を促進し、連携の強化につなげております。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | | |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026/3/31

事業所名：放課後等デイサービス 音の森はこだて花園

対象人数（保護者）37人 回答者数 21人 回収 56.8%

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わか | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|--------|----|-----------|-----|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 19 | 1 | | 1 | | |
| | 2 | 15 | 2 | | 4 | | 当事業所では、国が定める配置基準（児童10名に対し職員2名以上）を遵守するとともに、加配職員を含めた体制を整えております。 |
| | 3 | 18 | | | 3 | | 活動内容ごとにスペースを明確に分け、視覚的に分かりやすい表示や掲示物を活用することで、「今何をやる場所か」「次に何をやるのか」が理解しやすい環境づくりを行っています。 |
| | 4 | 19 | | | 2 | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | 20 | 1 | | | | |
| | 6 | 19 | 1 | | 1 | | |
| | 7 | 21 | | | | | |
| | 8 | 19 | 1 | | 1 | | 国が定める5領域を組み込んだ、音の森独自の音楽プログラムを行っています。そのほかにも地域・併用事業所などと密に連携を図り、療育内容に反映させています。 |
| | 9 | 21 | | | | | |
| | 10 | 21 | | | | | |
| | 11 | 10 | 3 | 3 | 5 | | 実施時にはオトモリ通信等で報告を行うとともに、今後は老人ホームや他施設への訪問等を通して発表や交流の機会を増やし、地域の子どもや多様な人との関わりを通じた経験の充実につなげております。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 20 | 1 | | | | |
| | 13 | 20 | | | 1 | | |
| | 14 | 17 | | | 4 | | オンライン講演会や見学会での情報提供の機会を設け、開催案内を事前に周知します。参加が難しいご家庭へは資料共有を行います。 |
| | 15 | 20 | 1 | | | | |
| | 16 | 16 | 4 | 1 | | | 定期面談の回数を明確にするとともに、随時相談できる体制（見学・HUG・公式LINE・電話等）について具体的に周知し、保護者が安心して相談できる環境づくりに努めております。 |
| | 17 | 18 | 2 | | 1 | | 保護者の思いを受け止める姿勢をより一層大切にし、職員間での情報共有や保護者対応の振り返りを行います。 |
| | 18 | 14 | 2 | 1 | 4 | | 年1回以上の茶話会を開催しており、今後も継続して実施するとともに、より参加しやすいよう告知方法や開催日時の工夫を行い、保護者同士の交流促進とつながりの強化につなげております。 |
| | 19 | 16 | 2 | | 3 | | 苦情・相談窓口を明確にし、相談しやすい環境づくりを行います。 |
| | 20 | 18 | 2 | | 1 | | |
| | 21 | 18 | 2 | | 1 | | |
| | 22 | 19 | | | 2 | | 利用児童およびご家族の個人情報の取り扱いについて、細心の注意を払い、適切な管理体制を整えております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 15 | 1 | | 5 | | 各種マニュアルの整備状況をお知らせし、閲覧可能であることを周知します。 |
| | 24 | 17 | 2 | | 2 | | 年二回、地震・火災（洪水）等を想定し、避難経路の確認や安全確保の方法について、子どもたちの発達段階や特性に配慮しながら訓練を行っています。また、職員間でも役割分担や初動対応の確認を行い、迅速かつ安全に対応できる体制を整えています。 |
| | 25 | 20 | | | 1 | | |
| | 26 | 18 | | | 3 | | 事故発生時の対応についてわかりやすくお知らせするとともに、連絡基準（事故・発熱等）を明確にし、迅速かつ丁寧な連絡と説明を行うことで、保護者に安心していただける対応に努めております。 |
| 満足度 | 27 | 20 | 1 | | | | |
| | 28 | 17 | 4 | | | | |
| | 29 | 19 | 1 | | 1 | | |